

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132504		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	休日応急歯科診療補助事業			担当部局・課	健康福祉部 健康福祉課			
事業内容	伊丹市歯科医師会が実施する休日歯科診療業務の管理運営に必要な経費が当該業務に係る診療報酬その他の収入金の合計額を超過する場合には、予算の範囲内において、当該超過額を限度として補助金を交付			事業開始(予定)年度				
				昭和55年度				
				事業終了(予定)年度				
			—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	地域医療体制の整備促進と救急医療体制の円滑化					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	伊丹市歯科医師会に事業補助することにより、休日等における歯科の急病患者に対し、応急的な歯科医療を提供し、市民の歯科医療不安の解消を図れるような診療体制を維持することを目的とする。（日曜・祝日・年末年始に伊丹市口腔保健センターにて、午前9時～正午まで歯科の急病患者に対し、応急的な歯科医療を提供）			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健衛生総務費			
						(事項) 保健衛生事業補助金等		
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	2,195千円	財源内訳		事業費	2,800千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市債	—			市債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	2,195千円			一般財源(市税等)	2,800千円
	投入人員	0.02人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	171千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	2,366千円		経費合計	3,657千円			
	活動指標	指標名(単位)	受診者数（人）			計画と実績	年度 区分	H17年度
意味・算式等		—			計画値		350	350
					実績値		377	